

令和4年度 イチオシ!の ICT 活用方法

教育委員会

大網白里市教育委員会

1. 小学校の学習における活用方法

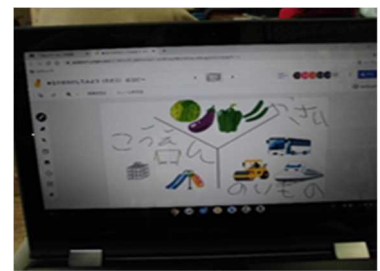
1年 国語科 「ものの名まえ」

ねらい 上位語・下位語の関係を理解する。

「ものの名まえ」の第1次で活用した。Jamboard を使い、Y字チャートと下位語（一つ一つのものの名前）の画像を貼り、子供たちが種類ごとにまとめた。また、ペンや付箋機能を活用し、上位語（まとめた名前）を書かせた。



りんごとみかんは
「くだもの」だから
同じ仲間にならないと
いけないね。



◎文字ではなく、画像で提示したことで、上位語と下位語の関係を捉えやすくなり、学習の見通しをもつことができた。

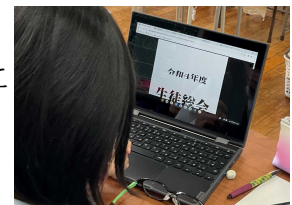
◎自分で動かして学習に取り組むことで、書くことに苦手意識を持っている児童も意欲的に取り組めた。

2. 中学校の学習における活用方法

生徒会行事をオンラインで開催

「生徒総会」

放送室をスタジオに、各委員長や部長から事業計画や予算案を提案した。各教室では、クラスルームから配布された資料を見て、放送を聞いた。例年は全校生徒約770人が一同に体育館に集まり実施していたが、クロームブックを活用することで、移動、会場準備等の時間の節約と資料の印刷時間節約、紙代の節約につながった。資料に間違いがあった場合も、修正したものをすぐに配布することが可能になった。



「部活動壮行会」

別室のスタジオから各部が最後の大会への意気込みを発表した。選手宣誓は校長室で行った。各クラスにおいてオンラインで発表を聞いた。全校生徒数が体育館に集まるよりも短い時間で実施することができた。

